

本橋テープ株式会社

静岡県榛原郡吉田町

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「人と生・遊・働をつなぐ」を理念としてテープ（細幅織物）の新たな可能性を生み出す企業

- バック等の部品（テープ）製造から、エンドユーザー向けの商品製造に業務を拡大
- 人財育成とオープンな社風の醸成が業務効率化、業容拡大の切り札
- 老若男女、だれでも明るく楽しく働き、達成感がある職場づくり

企業基本情報

所在地	静岡県榛原郡吉田町住吉 3216-5
電話/FAX	0548-32-2567/0548-32-2735
URL	http://www.motohashi-tape.co.jp/
代表者	代表取締役社長 本橋 真也
設立	1962年
資本金	1,000万円
従業員数	42人



会社概要

同社は静岡県榛原郡吉田町で1962年に個人創業し、1986年に法人化した。以来、吉田町の地場産業である「細幅織物」の製造・販売を営んでいる。細幅織物は、巾13cm未満の織物であり、バッグのショルダーベルトや車のシートベルト等、幅広く使用されている。従来、繊維問屋を対象とし、BtoBの取引が主であったが、現在はOEMや消費者向け独自商品の開発に注力し、BtoCの取引拡大を推進している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

技術を生かした自社ブランド商品作りを進める

同社の製造する細幅織物は、カバン等の付属品として使用されるのが主であり、同業他社との差別化が困難で競合しやすい市場環境である。そこで、付加価値を付けた独自商品の開発に取り組んできた。2007年、テープに昇華転写プリントすることで、柄・デザインが多様化が実現し、多数の小物雑貨商品を開発した。最近では、フルオーダーメイドのトートバックの製造・販売を行い、デザイン性と強度を兼ね揃えた商品性に消費者から大きな反響を得ている。



トートバックのパンフレット写真

人財育成で業務の質の向上を図っている

同社では人材を人財と呼び変え、とことん人を大切にしている。人財育成のため、月1回の会議の場や各職場内で自由に意見交換ができる雰囲気醸成している。その結果、新商品の開発や新技術の特許取得などが実現している。機械設備面では、細幅織機の更新を順次行っている。又、染色について内製化を行うため、昨年より染色課を設置。男子社員1名が染色工場（外注先）に出向し、染色技術の習得をスタートさせている。



織り工場内写真

老若男女が働くことの出来る職場づくりで、静岡県から表彰

同社は、静岡県が男女共同参画の推進に関する取組を積極的に取り組み、「男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒賞」を2017年度に受賞。男女のみならず老若男女が、活躍できる職場づくりを目指す点が評価された。また、地元高校等で進路ガイダンスの講師を行うなど、社内のみならず地域の人財育成を心かけている。さらに、2016年11月、若者雇用促進法に基づく基準適合事業主認定として、ハローワーク島田管内初、静岡県下4番に認定された。



知事褒賞授与式後県知事と